2025-26 年度

地区公共イメージ・IT 委員会　活動方針

次期公共イメージ・IT 委員会

委員長予定者　善方邦彦

決議 23-34 には次のように記されています。

ロータリークラブが奉仕活動を選ぶ場合に宣伝をその主たる目標としてはならないが、ロータリーの影響力を拡大する一つの方法として、クラブが立派に遂行した有益な事業については正しい広報が行われるべきである。（抜粋）

また、ポール・ハリスは

「ロータリーが私たちにとって何を意味するにせよ、世界はその活動成果によってロータリーを知るのです」と述べています。

19.4%

この数字は昨年度、当委員会が実施したアンケートによる公式ロゴマークの認知度です。私たちの身近な人々の多くは、奉仕活動の証として記されている公式ロゴを地域社会で目にしても、それを我々ロータリーによるものと認識されていないことは明らかです。ロータリーについて見聞きしたことがあるのは 47.7%でしたが、活動内容について知っている方はごく少数でした。どんな活動をしているかわからない団体には入会しないでしょうし、当然、ロータリーの崇高な理念と献身的な奉仕活動についての理解が広まる訳がないことは言わずもがなです。

もはやロータリーにおける公共イメージ向上やブランディングについて、まずその必要性を論じるなどという余裕は私たちにはありません。

自分以外の誰かができることだとしても、自らがそれをやらずに過ごしていい理由には到底なり得ません。陰徳の美という精神は私たち日本のロータリアンのこころに留めておくべき尊いものです。その上で一人ひとりがロータリアンとしての矜持を保ちつつ、全員がロータリーのアンバサダー（代弁者）としての意識を持って活動していただくことが必要です。

地域社会の人びとにロータリーの活動とそのインパクトを理解してもらうには、効果的な公共イメージ戦略が重要となります。地区公共イメージ・IT 委員会は、クラブがロータリーを人びとに紹介し、その活動に対する理解を深める活動を支援するとともに、ロータリーそのもののブランディング戦略を進めて参ります。

【 公共イメージの向上 】

・クラブと地区委員会の活動の拡散

⇒ 地区公共イメージ WEB サイトブラッシュアップと SNS の活用

YouTube 等へのコンテンツ UP

・マスメディアへのアプローチについて ⇒ プレスリリースの提案など

・公式ロゴマーク適正使用の推進（会報、HP、クラブ旗など）

・ポータルサイト等への広告出稿 ⇒ 公共イメージ HP のアクセス数 UP

・地区公式マスコットキャラクターの活用促進

【 IT 関係】

・My ROTARY 登録推進と活用アドバイス

⇒奉仕プロジェクトセンター、ブランドリソースセンター、

ラーニングセンター、オンラインでの寄付など

・オンラインミーティング等のサポートと活用方法の提案

・クラブ優秀賞受賞へのサポート

・地区アクション表彰（デジタル広報賞）の選定

現時点での主な行事予定

○ クラブ活性化ワークショップ；７月１９日(土) ユラックス熱海

○ 公共イメージ向上セミナー；９月６日(土) ユラックス熱海

○ エンドポリオ（世界ポリオデー）キャンペーン

○ My Rotary 活用セミナー（オンライン、後期）

各クラブにおける適切で効果的な広報活動がロータリアンの帰属意識の向上と会員増強、そして奉仕活動のさらなる充実に繋がるよう、みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。